



No. 187  
2015年 4・5月号

発行  
日本共産党  
小矢部市委員会  
小矢部市七社 245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
FAX 67-4842

日本共産党発行  
しん赤旗  
日刊●月3497円  
日曜版●月 823円

# TPPからの撤退を

## 3月議会に 農民連が請願

「TPP(環太平洋経済連携協定)からの撤退」「安倍政権による農協つぶし反対」「米価暴落対策を求め、請願を、農民運動富山県連合会(農民連)小矢部班(代表・辻慶輝氏)が3月議会に提出し、砂田市議は予算特別委員会で取り上げました。

## 小矢部市農業に深刻な打撃

小矢部市のコメと鶏卵、畜産物の生産高は61億円にのぼります(表参照)。TPPで関税が撤廃され海外から安い農産物が輸入されれば、小矢部市の基幹産業である農業は深刻な打撃を受けることは明らかです。

## 食の安全と消費者の健康が危険に

### 成長ホルモン入り牛肉

関税を下げ、米国産やオーストラリア産牛肉の輸入が増え、発がん性が指摘されている成長ホルモン入り牛肉の輸入が増えます。ヨーロッパ(EU)は成長ホルモン入り牛肉の輸入を拒否しています。

### 遺伝子組み換え食品

フランスでラットに遺伝子組み換え食品を与えたら3週間では異変は起きなかったが、ラットの一生に

## 第3子から無料に

### 保育料

小矢部市は新年度から第3子以降の保育料を所得制限なしで無料にします。これは上の子が保育所を

区分	全国	富山県		小矢部市		単位	
		全国シェア	県内シェア	全国シェア	県内シェア		
米	生産量	8,603,000	216,800	2.52%	13,800	6.37%	トン
	産出額	17,859	446	2.50%	27.6		億円
鶏卵	飼養羽数	174,784	1,116	0.64%	827	74.10%	千羽
	鶏卵生産量	2,521,974	19,858	0.79%			トン
	産出額	4,765	41	0.86%	30		億円
豚	飼養頭数	9,685,000	31,400	0.32%	3,415	10.88%	頭
	生産量	1,309,434	7,734	0.59%			トン
	産出額	5,793	21	0.36%	2.3		億円
肉用牛	飼養頭数	2,642,000	4,070	0.15%	230	5.65%	頭
	生産量	7,508,261	13,881	0.18%	71		トン
	産出額	5,587	12	0.21%	0.647		億円
乳用牛 牛乳生産	飼養頭数	1,423,000	2,340	0.16%	37	1.58%	頭
	牛乳生産量	507,986	866	0.17%			トン
	産出額	7,789	16	0.21%	0.3		億円
合計産出額		41,793	536,000	1.28%	61.167	11.41%	億円
全体産出額に占める コメの割合		42.7%	83.2%		45.1%		

1)平成25年の農林水産省[畜産統計調査]、「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」による  
2)肉用牛の小矢部市数値(生産量、産出額)は稲葉山牧野分のみとする  
3)コメの産出額は、小矢部市の数値は12000円/60kgとして算出する  
4)小矢部市の鶏卵、豚、乳用牛と合計産出額(網掛けで表示)は、生産量や飼養数の県内シェアをもとに、砂田が推計した

## 請願に賛成

市議会ではこの請願に賛成したのは砂田市議だけでした。他の議員はなぜ反対したのか、これ以上農業破壊を許してよいのでしょうか。

## 砂田市議のみ

か。食の安全と消費者の健康をだれが守るのでしょうか。反対した議員には市民に対する責任が問われます。

## このままでは 下水道料金 値上げの恐れ

市の下水道事業は、赤字分をすべて税金で穴埋め(汚水分のみで6億2638万5千円、2013年度決算)しています。国は2020年度までに下水道事業に公営企業会計の適用を求めました。地方公営企業法は料金を適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保するよう求めています。市の下水道使用料は、1990年より水道使用量1立方メートル当たり150円(税抜き)ですが、公営企業

会計の適用で値上げが懸念されます。

## 7億円投じて

2015年度に11地区で7700メートルの下水道管を敷設し、160戸の生活排水を受けます。この整備に6億9444万円(1戸当たり434万円)を使うが、160戸すべて加入しても、見込める使用料収入は年間562万円です。使用料で投資額を回収するには124年もかかります。

## 下水道計画の見直しを

## 散居村では 合併浄化槽方式に

合併処理浄化槽は、2015年度に40基設置する補助金2190万円を予算化しました。1基当たり54万円の補助金ですが、設置者の自己負担を含めると100万円余で整備できます。公共下水道方式の約4分の1で済みます。

砂田市議は「散居村では整備費が少なく済み、維持管理も市が責任を持つ市町村設置型合併浄化槽方式に見直すべきだ。未整備地区で行ったアンケートでは、県庁で下水道構想の担当をしていた方も「合併浄化槽の能力も格段に向上していることから、合併浄化槽の整備制度の拡充が現実的」と回答している」と強調しました。



沖繩県の翁長知事が安倍総理との会談で述べた言葉がすばらしい。「昨年の名護市長選挙、沖縄県知事選挙、衆議院選挙…全ての選挙で辺野古新基地反対という圧倒的な民意が示された」▼「沖縄は自ら基地を提示したことは一度もない。普天間飛行場もそれ以外の基地も戦後県民が(捕虜)収容所に収容されている間に、(土地が)接収された。または居住場所をはじめ銃剣とブルドーザーで強制接収され、基地造りがなされた」▼「自ら土地を奪っておきながら老朽化したから、世界一危険だから沖縄が負担しなさい。嫌なら代替案を出せと言われる。こんな理不尽なことはない」▼「私は絶対に辺野古への新基地を造らせない」。「安倍総理には…訪米した際には、オバマ大統領(沖縄県知事はじめ、県民は、辺野古移設計画に明確に反対している)ということ伝えていただきたい」▼「これこそ県民の信託に真正面から向き合う政治家の姿ではないだろうか」▼「ひるがえって、小矢部市議会を見てみるとどうだろうか。」「国会決議に反するTPPからの撤退」「安倍政権による農協つぶし反対」「米価暴落対策を求め、請願に共産党市議以外すべて反対した。議会が終わってから思いは同じなんだけど…」と言いつつ議員もいたとのこと。何のために市民の代表となったのか、情けない▼翁長知事は元自民党の幹部だった人だが、党派の違いを乗り越えて「オール沖縄」でがんばっている▼日本共産党は沖縄の運動に、日本の未来を開く政治の希望を見ている。